

# 遅播き栽培における飼料用トウモロコシ「PI2008(スノーデントおとは)」の栽培特性

「PI2008」は耐倒伏性・収量性に優れ、南方さび病にも強い

## 背景・目的

- ・県内の飼料用トウモロコシ作付面積は約1,723haで、春夏作面積の約24%を占める重要な飼料作物
- ・飼料自給率の向上に向け、飼料作物優良品種の選定・普及が必要
- ・飼料用トウモロコシについて、耐倒伏性、耐病性、収量性等に優れた品種が必要

## 成果の内容



提供：農研機構 九州沖縄農業研究センター

### 「PI2008(スノーデントおとは)」の草姿

「PI2008」の栽培特性(H27~29, 試験地：県畜産試験場)

品種名	発芽 良否	初期 生育	稈長	着雌 穂高	倒伏	折損	病害			乾物収量			乾物総重 の対比較
							南方 さび病	ごま葉 枯病	すす 紋病	乾茎 葉重	乾雌 穂重	乾物 総重	
							1~9 基	1~9 基	1~9 基	kg/a	kg/a	kg/a	
PI2008	8.0	7.6	212	67	1.1	0.4	1.1	1.1	1.3	88.8	68.5	157.3	113.9
SH9904(指標)	8.0	7.7	212	95	5.5	1.9	2.0	1.2	1.1	85.5	52.6	138.1	100.0

※試験は遅播き(5月播種)で実施

### 「PI2008(スノーデントおとは)」の特徴

#### 「SH9904(スノーデント王夏)」との比較

- ・耐倒伏性に優れる
  - ・乾物収量は、1割程度多い
  - ・南方さび病抵抗性は、抵抗性品種「SH9904」と比較して同程度以上
  - ・暖地の春播きから遅播き、夏播き栽培まで利用できる品種で、RM(相対熟度)\*は127
- \*RM(相対熟度)とは、播種日から刈取適期に達するまでの期間(日数)の目安

導入  
メリ  
ット

耐倒伏性・収量性に優れることから、台風等の気象リスクに対応した自給飼料の安定確保が期待できる



H30台風24号(最大瞬間風速31.6m/s)通過後の「PI2008」

## 期待される効果

自給飼料の安定確保による乳用牛農家、肉用牛農家の経営安定

鹿児島県農業開発総合センター 畜産試験場 企画環境飼料部 草地飼料研究室

普及対象・範囲

県内の乳用牛農家、肉用牛農家

(独法委託, 民間)